

11 保健・衛生

(1) 乳幼児健診の状況

区 分		3か月児	4か月児	6か月児	10か月児	1歳 6か月児	3歳児
平成17年度	対象者	448	429	446	429	429	426
	受診者	425	382	398	372	405	403
	受診率	94.9	89.0	89.2	86.7	94.4	94.6
平成18年度	対象者	424	424	416	445	453	443
	受診者	394	380	380	369	425	419
	受診率	92.9	89.6	91.3	82.9	93.8	94.6
平成19年度	対象者	386	386	379	395	425	431
	受診者	360	346	325	341	406	400
	受診率	93.3	89.6	85.8	86.3	95.5	92.8
平成20年度	対象者	376	394	396	394	400	436
	受診者	360	355	345	337	395	430
	受診率	95.7	90.1	87.1	85.5	98.8	98.6
平成21年度	対象者	374	374	370	371	386	416
	受診者	354	349	358	327	369	406
	訪問 (再掲)	86		88			
	電話 (再掲)	36		19			
	受診率	94.7	93.3	96.8	88.1	95.6	97.6

資料: 健康づくり課

(注) 平成21年度新型インフルエンザ感染予防対策として、3か月児相談は11月～2月まで、
6か月児相談は、11月～1月まで集団方式の相談ではなく、訪問または、電話相談で対応した。

11 保健・衛生

(2) 生活習慣病予防検診の状況

区 分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
基 本 健 診	対象者	12,083	12,100	12,500	-	-
	受診者	6,468	7,244	6,532	-	-
	受診率	53.5	59.9	52.3	-	-
特 定 保 健 指 導	対象者	-	-	-	523	578
	受診者	-	-	-	52(16)	59(51)
	受診率	-	-	-	9.9(3.1)	10.2(9.0)
肺 が ん ・ 結 核	対象者	12,364	14	12,600	13,712	13,712
	受診者	5,912	5,365	4,982	4,962	5,250
	受診率	47.8	38,876.8	39.5	36.2	38.3
胃 が ん	対象者	12,550	12,600	12,650	14,386	14,386
	受診者	4,172	3,848	3,482	3,387	3,630
	受診率	33.2	30.5	27.5	23.5	25.2
大 腸 が ん	対象者	13,230	13,250	13,300	14,386	14,386
	受診者	4,999	4,772	4,494	4,391	4,565
	受診率	37.8	36.0	33.8	30.5	31.7
肝炎ウイルス(B型)	受診者	801	2,841	650	1,233	264
肝炎ウイルス(C型)	受診者	770	2,820	650	1,231	264
前 立 腺 が ん	対象者	7,400	7,500	7,608	4,741	4,741
	受診者	1,884	2,227	1,934	1,874	2,247
	受診率	25.5	29.7	25.4	39.5	47.4
子 宮 が ん	対象者	5,156	6,952	7,078	10,766	10,766
	受診者	1,877	3,098	3,088	3,145	3,507
	受診率	36.4	44.6	43.6	29.2	32.6
乳 が ん	対象者	4,036	5,747	6,019	8,739	8,739
	受診者	1,525	2,572	2,646	2,839	3,178
	受診率	37.8	44.8	44.0	32.5	36.4
骨 粗 しょう 症	対象者	4,499	4,792	5,011	9,395	9,393
	受診者	1,637	1,645	1,320	1,168	1,203
	受診率	36.4	34.3	26.3	12.4	12.8
歯 周 疾 患	対象者	9,821	11,633	11,915	16,456	16,456
	受診者	833	840	849	839	920
	受診率	8.5	7.2	7.1	5.1	5.6

資料：健康づくり課

(注) 従来40歳以上の市民を対象に実施してきた基本検診は、

平成20年度から『特定健診・特定保健指導』へと変わりました。特定保健指導は市実施分。

(注) 平成20年度から『対象者』は推計人口で統一となりました。

(注) 特定保健指導()内は市で実施した数になります。

(3)ごみの処理状況

(単位:kg)

年 度	合 計	分 別 区 分			
		燃やせるごみ	資源ごみ	埋立ごみ	集団回収
平成19年度	18,593,676	13,103,445	5,123,584	66,670	299,977
平成20年度	18,322,463	12,992,358	4,993,829	60,190	276,086
平成21年度	18,133,475	13,110,810	4,700,417	57,280	264,968

資源ごみの内訳	平成19年度	平成20年度	平成21年度
プラスチック容器	699,190	635,460	579,140
新聞紙	1,045,480	911,280	811,310
雑誌	671,090	606,250	535,660
ダンボール	334,120	296,020	280,500
紙パック	13,780	13,100	13,850
古着類	169,460	161,828	162,950
発泡トレイ	9,735	10,080	8,985
紙製容器包装	108,940	126,580	117,230
アルミ缶	66,640	61,160	59,690
スチール缶	122,200	110,740	103,390
その他の金属	453,570	426,850	441,300
乾電池	14,971	15,019	19,380
その他のプラスチック類	225,700	266,310	285,190
一升びん	23,598	22,582	25,472
ビールびん	3,990	7,760	6,780
とうめいびん	234,170	222,440	199,880
茶色びん	136,610	121,080	125,230
青・緑びん	63,650	76,510	53,030
黒色びん	13,230	17,370	11,400
その他の色びん	8,770	8,610	8,750
蛍光灯	12,000	10,950	7,540
ペットボトル	129,610	122,800	118,840
粗大ごみ(不燃系)	79,490	100,330	66,190
木質系粗大ごみ	140,500	434,390	460,690
適正処理困難物	227,920	139,890	141,260
その他	7,000	41,880	19,290
剪定枝	108,170	26,560	37,490

資料:クリーン課

(注)適正処理困難物とは、プラスチックと金属の混合物や布団など、通常の分別処理ができてにくい物。

(注)その他とは、不法投棄で回収された廃タイヤや廃家電等。